

一般会計補正予算

十一億四千九百万円を追加

消費税に伴う使用料に関する議案を否決

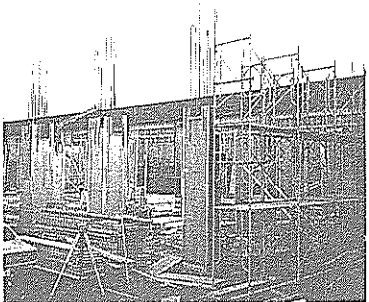
十二月定例市議会第二十五回議会定例会が十二月八日に開会、二十日までの十三日間の日程で開かれ、平成元年度南国市一般会計補正予算など十議案を可決、昭和六十二年度南国市一般会計歳入歳出決算など五議案を継続審査にし、九月定例市議会で継続審査となっていた消費税法に伴う公民館等の使用料に関する六議案を否決。そのほか、公共施設に設置されている公衆電話の手数料が予算計上されていないことについて、議員提案により公衆電話手数料調査特別委員会が設置され、福田、今西、中村、森尾、竹内、小沢、島内、吉村、高島、山岡各議員が委員に選任されました。また、島内正雄監査委員の辞職に伴い、新たに北村明氏が監査委員に選任されました。

市政報告

議会の開会にあたり、まず市長は十月から十二月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

■財政

市税、地方交付税の若干の増収は見込まれるが、香南清掃組合負担金及び退職手当が二億五千万円程度見込まれ、財政調整基金の取り崩しで対応せざるを得ない。



校舎改築中の長岡小学校

■教育施設

長岡小学校校舎改築事業については、三年三月十一日の完成を目指してこのほど着工。元年度の主な義務教育施設整備事業はすべて施工の段階に入った。

■社会教育

市民が生涯にわたって学習する機会を拡充していくため、四回目の社会教育研究会を生徒学習フェスティバルと改め、学習時代にふさわしいものとして実施した。

各教室は、古いものからサークル活動に切り替え、リフォーム教室、英会話教室、ワープロ教室、県補助による婦人講座などを新設した。同和啓発については、久礼田地区などで夜間講座を実施。ま

十月一日に三百七十人余りの参列を得て記念式典を挙げる。カシオ計算機株式会社相談役尾忠雄氏を名誉市民に顕彰、市政の功労者十八人、三団体に市長表彰を贈った。引き続き祝賀会を開催、二十一世紀に向けての市政の発展と飛躍への決意を新たにした。



市制施行30周年記念式典

■市制施行三十周年

最後の行事として土佐日記船出まつりを行ったが、郷土の歴史、文化資源の啓発、発展等、地域づくりに貢献できたと思う。



土佐日記船出まつり

■同和対策

小集落地区改良事業については、前年度よりの繰り越し事業はすべて完了。本年度事業についても、野中地区において改良住宅十八戸、緑地二カ所、地区道整備五カ所、西部地区において地区道整備四カ所を発注している。

また、緑地公園に関連する舟入川護岸工事については、年度内に工事を発注する見込みとなった。引き続き住民の理解と協力を得ながら、当初計画の実行に向けて全力を傾注していく。

■廃棄物処理

不燃物最終埋め立て処分場建設問題については、地元八京地区に対して説明会を実施。引き続き環境影響調査、測量調査等をお願いしていく。し尿処理施設については、市内全域の調査を踏まえて廃棄物処理委員会の答申を得たい、土地改良区、関係地元正式に要請する。

■農業

米作を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあるが、生産農家をはじめ、各関係団体の努力により、高知県産コシヒカリが一類に昇格した。

また、本年度は米穀売り渡し限度数量の全量出荷を目標に取り組んできたが、十月末現在の出荷数量は、昨年の最終実績を上回っている。水田農業確立対策については、転作実施面積が、八月末現在一〇六町の達成見込みである。後期については、転作等目標面積の現行据え置き方針が決定されたが、過剰米をめぐる問題は一段と深刻になってきており、需給ギャップを埋めるため、一層の努力が必要と考える。

た、長岡西部体育館で集会所、識字学級文化祭を実施したが、保育所、小中学校、地域の積極的な参加によって内容を一段と深め、今後市全域に広げたい。

■建設

土木関係の平成元年度国庫補助事業については、石土トンネル、小笠辺路石線改良工事が約九〇％の進捗率、天神倉の坂線舗装工事がすべて完了、西島の市道一〇三号線改良工事は、測量を完了し、用地交渉を行っている。国分川改良に関連した小笠辺改良工事はすべて発注済である。

準用河川及び普通河川の改良整備事業は、年度内完成を目指し、地元対策と用地確保に取り組んでいる。

公共災害については、元年八月三十日の集中豪雨に伴う災害が、第三次査定において採択さ



市道小笠辺路石線

れ、年度内に整備完了するよう努力している。

四国横断自動車道の市内分五八、については、県及び道路公団とともに地元住民と協議を重ね、推進を図っている。

■都市対策

後免町コミュニティ住環境整備事業については、事業化に向けて、市街地再開発事業地区、商店街近代化事業地区、コミュニティ住環境整備事業地区等に位置付けられる根拠や手法の整理などを行っている。特にコミュニティ住環境整備事業地区については、具体化に向けての綿密な状況調査を行い、基本方針、基本計画を作成、資金計画等の検討を行い、元年度末には調査委託業務を完了する予定である。

浦戸湾東部流域下水道に関連する公共下水道の本年度事業は、篠原汚水幹線と、その支線、栄町、稲吉地区を平成四年供用開始に向けて実施中。

十市パークタウンの下水道は、来年四月の供用開始に向けて、第一期工事の完成を目指し、努力している。これに伴う下水道条例(案)を今議会に提案している。

文化会館は

現体育館敷地に建設

十二月定例市議会の一般質問は十二日から十四日までの三日間にわたって行われ、福田、今西、山本(弘志)、高島、土居、田島、竹内、山崎、小沢各議員が市長の政治姿勢や職員問題、農業問題などについて執行部の考えをたどりました。その主な内容は次のとおりです。

同和対策

■小集落事業の期限内の遂行は可能か。

■若干の計画の離れはあるが、法期限内に完成できると考えている。問題は、計画変更による離れであるが、できるだけ努力をさせていた。後二年余りしかないのに、ピッチを上げなければならぬと思う。

■法期限切後の啓発について

■法期限後の啓発のあり方は大きな転機を迎えると思われている。見直しについては、次の三点を重点課題として取り上げなければならないと考えている。

一つ目は、啓発、教育における行政の主体性の問題である。行政機関が一体となって、中立性を確保しながら啓発にどう取

り組み、これを教育活動に発展させていくかが今後の大きな課題。

二点目は、テーマと内容についての発想の転換である。同和教育は、部落差別をなくするという特殊性を持ったものであると同時に、一方では、身の周りの一切の差別を解消するという普遍性を持ったものである。これまでの対策で実態的な差別が解決されつつある今後は、枠組みを越えて、啓発の焦点を基本的人権の確立に置き、それとの関連で部落差別を考えるための魅力ある内容と手段を創造していかねばならない。

三つ目の課題は、同和地区住民の自立、向上心の掲揚の問題で、今後いっそう集会所活動などを充実、活性化することによって努力しなければならない。(次のページにつづく)

ふるさと創生

■ふるさと創生資金の使用目的は。

□市ふるさとづくり基金条例に基づいて運用していく。県下の各市町村もそれぞれふさわしい計画を立て始めており、当市としても関係各課で協議をしながら計画を策定していきたい。この中には、人材養成につながる国際交流事業等も取り入れたいと考えている。また、国分川周辺のリゾート化についても考慮していきたい。明年度には構想を立て、市長に提言したい。

まちづくり

■後免町のまちづくりについての展望は。

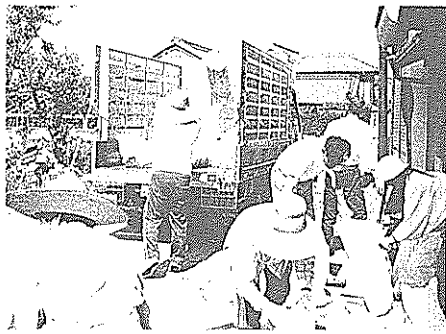
□年度末にだいたいの概要ができるが、平成七年度を目標年次ととらえている。それまでに精力的にいろいろな研究をしていただきたい。

文化会館

■文化会館の経過は。

□検討委員会が現体育館敷地に場所が決定したが、同敷地に体育館と文化会館の併設は困難であるという意見もあり、今後検

討が必要。多目的な施設を考えており、特別な目的のスペースは現在のところ考えていない。南国市民のことだけを念頭に置くのではなく、広域的な観点から人が集まるものを造るべきであると思う。



環境行政

■チリ袋の自由化、無料化についての考えは。

□チリ袋の値段は検討するが、無料化はできない。値上げについては、財政再建上の問題であって、消費税に便乗した値上げではない。自由化については、香南清掃組合傘下七市町村の申し合わせであって、市単独の自由化は困難。県下の無指定実態も調査したが、無指定自治体で

は、最終処分場への可燃ごみの混入も多い。そのような事態では市の最終処分場建設にも困難をきたすと思われる。チリ袋の指定によって生活環境が清潔度を保っており、他市町村からも評価を受けているので、理解をお願いしたい。

■高知県清流保全条例に伴う南国市の対応は。

□十二月県議会に提案されているが、市民の自発的な取り組みによる改善度を見ながら、市にふさわしいものが必要があれば作らなければならないと思う。そのため企業から忌避されることになるかもしれないが、企業も公害については十分認識を深めているので、配慮はしなければならぬが、その心配はあまりないと思う。公害対策審議会の意見もうかがいたい。

■流域下水道は人口の約五〇％強程度カバーするので河川汚濁が相当改善されると思う。計画区域外については、地域住民の要望も検討し、将来的には全市的に清流保全ができるものを完備しなければならない。今後じゅうぶん県と協議し、今後の対応策を探っていきたい。

常任委員会委員名簿

委員会名	委員氏名		
	○委員長	△副委員長	(元・12・8選任)
総務常任委員会	○中村 朋子	△今西 忠良	福田佐和子
	北村 明	山本 昇	竹内 淳輔
	島内 正雄		
建設常任委員会	○窪田 幸雄	△土居 篤男	田島 邦雄
	寛 幸藏	門田 益治	松岡 幸寿
産業経済常任委員会	○山崎 清重	△井上 徳成	紀伊 肇
	岡崎 俊一	松本 一郎	吉村 雅男
教育民生常任委員会	○西岡 照夫	△高島 邦明	山本 弘志
	中屋 宏二	森尾 俊	山岡 誠吾
	小沢 正澄		
議会運営委員会	○山岡 誠吾	△竹内 淳輔	今西 忠良
	田島 邦雄	高島 邦明	岡崎 俊一
	小沢 正澄	島内 正雄	吉村 雅男

可決された主な議案

■平成元年度南国市一般会計補正予算(十一億四千九百四十七千円を追加補正し、予算総額を百六十三億四千九百三十六万二千円とする。財源は市税の増収見込み、自動車取得税交付金、特別交付税。主な内容は、人件費六千四百二十九千円、地域改善対策事業費十億九千九百五十一万六千円を追加、吾岡山整備事業費三千五百十万円、土木費二千二百万円を減額。

■市道の認定について(長小通学線と陣山辺路右線を結ぶ長小東線を市道に認定する)。

■南国市議会の議員に対する期

十二月定期市議会の議事録は、三月以降市立図書館で閲覧できると予定。